

整備方針・目的と事業計画概要

新潟駅周辺整備により、鉄道を挟んだ南北市街地の一体化を図り、自動車・自転車・歩行者の安全かつ円滑な交通を確保するとともに、賑わい空間の創出により「日本海拠点都市にいがた」としてふさわしい都市機能の強化を図ります。

連続立体交差事業

踏切の除却による安全性と利便性の確保と、複数の道路の立体交差化を一挙に実現するため、鉄道在来線の高架化を行っています。

幹線道路整備事業

駅周辺地区の円滑、安全な交通環境の実現に向けて、鉄道と交差する4本の立体交差道路と、出来島上木戸線（笹出線）など関連幹線道路の整備を行っています。

駅前広場整備事業

新潟の陸の玄関口として、また鉄道とバスなどの交通が結びつき、それぞれの乗り換えの利便性を向上させるため、駅前広場と新潟駅バスターミナル（高架下交通広場）の整備を行っています。

事業計画概要

■新潟駅付近連続立体交差事業（鉄道高架化）
高架区間 L＝約2.5 km
（撤去踏切：米山踏切、天神尾踏切…完了）
高架側道整備 L＝約1.8 km
区画道路整備 N＝9箇所

事業計画概要

立体交差道路
■新潟鳥屋野線 L＝819m W＝30m…完了
■新潟駅西線 L＝831m W＝22m
■新潟駅東線 L＝750m W＝22m
（※歩道・自転車道のみ L＝144m W＝5.5m…完了）
■明石紫竹山線 L＝766m W＝18～20m
関連幹線道路
■弁天線 L＝330m W＝60m…完了
■駅南線 L＝144m W＝16m…完了
■出来島上木戸線 L＝1,855m W＝22m

事業計画概要

■万代広場 A＝約18,600㎡…部分整備完了
■南口広場 A＝約14,000㎡…完了
■新潟駅バスターミナル（高架下交通広場） A＝約4,400㎡…完了

